

森林やまがた

No. 50

2001 5月



第53回 全国植樹祭式典会場鳥瞰図



第53回全国植樹祭

感じていますか 森があるしあわせ

目次

全国植樹祭式典会場鳥瞰図…	1	現地ルポ 木の香りいっぱい	
第53回全国植樹祭		大江町「わかば保育園」……	7
基本計画が決定……	2	平成12年特用林産物の	
里山から始まる森林づくり		生産状況について……	8
キャンペーンスタート……	3	「県民の森」「源流の森」「眺海の森」	
ジャガイモの栽培……	4	イベントのご案内……	9
萬緑の中、思うこと……	5	山形県の名水・湧水……	10
資源循環型森林施業団地化		山形県の古木・名木……	10
モデル事業を創設……	6	木材市況……	12

第五十三回全国植樹祭基本計画が決定

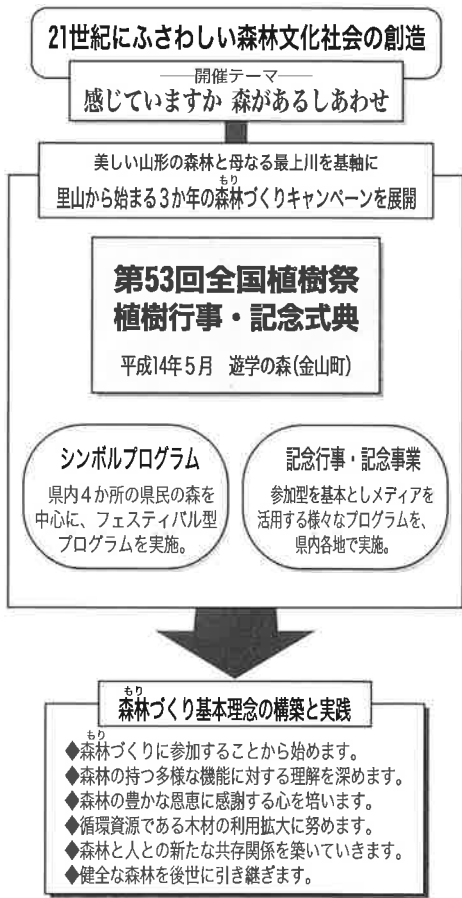
天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、平成十四年五月に金山町「遊学の森」(有屋ゾーン)で開催される第五十三回全国植樹祭の山形県実行委員会第二回総会が、高橋知事をはじめ各委員の出席を得て平成十三年四月十八日に開催されました。同総会では、平成十三年度の事業計画、予算と併せ、第五十三回全国植樹祭の式典演出、会場設営、管理運営などを定めた基本計画が承認、決定されました。

全国植樹祭は、荒廃した森林の回復を主眼とする国土緑化運動として、昭和二十五年にスタートし、本県では、昭和三十五年に上山市小倉地区大森山で第十一回大会が開催されて以来、四十二年ぶり二回目の開催となります。

基本計画では、「二十一世紀にふさわしい森林文化社会の創造」を開催理念として掲げ、森林(緑)と川(水)を基軸に人々が自然生態系と調和して共存する姿を理想とし、山形の先人達が築いてきた森林と人との良好な関係を踏まえながら新しい森林づくりを提案していくこととしています。さらに、植樹祭を一つの過性の式典に終らせることのないよう、前後三カ年にわたるキャンペーン事業を展開し、県民参加による森林づくりを幅広い交流と力強い行動に育て、大切な資産として未来に引き継ぎます。

一、開催テーマ
感じていますか森があるしあわせ

二、シンボルマーク
※表紙参照



- 三、開催期日
平成十四年五月(日曜日を予定)
- 四、主催
山形県、(社)国土緑化推進機構
- 五、場所
「遊学の森」(有屋ゾーン)
- 六、参加人員 一二、〇〇〇人
- 七、主な招待者
衆議院議長、総務大臣
文部科学大臣、農林水産大臣
千葉県知事
- 八、記念式典プログラム
①プロローグ(太鼓演奏など)
②記念式典
- 九、関連プログラム
・参加者記念植樹
・サービスマチの展開
- ③エピソード
(夏祭りの紹介 など)
- ・天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き
- ・緑化功労者等の表彰
- ・記念切手の贈呈 など
- 今後は、より具体的な実施計画を定め、開催準備を進めてまいりますので、皆様方の特段の御支援、御協力を心よりお願い申し上げます。

**里山から始まる森林づくり
キャンペーンスタート**

**「みんなが
森林の応援団」**

第五十三回全国植樹祭の開催理念の実現に向け、県民一人ひとりが、企業・行政とともに主体的に参加する「みんなが森林の応援団」キャンペーンを、全国植樹祭を核に前後三か年にわたり県内各地で展開します。

《今年度の主な記念イベント》

- 5月23日 地域植樹祭（眺海の森）
- 6月2～3日 プレ植樹祭（源流の森）
- 6月16～17日 森林環境教育全国シンポジウム（山形市）
- 8月 林間学校（源流の森他）

美しい山形の森林と母なる最上川を基軸に
里山から始まる森林づくりキャンペーンを展開



- 10月 地域植樹祭（県民の森）
- 10月21日 林道マラソン（県民の森）
- 2月 森林フォーラム（新庄市）
- 3月 駅コン&森の恵み市（新庄駅 ゆめりあ）

活動の少年報告

ジャガイモの栽培

寒河江市立田代小学校

木村 佳奈枝

今年も、五月に学校の畑にジャガイモをうえました。うえる時は、半分に切られている種いもを二十五センチぐらいほられている土の中に、うめていきました。わたしは「早く大きくならないかなあ」と思いながらうえました。

うえた後は、校長先生に世話の仕方を教えていただきました。「まびき」という、わきめをとる仕事や、「土よせ」という土をかける仕事などです。これをくり返していくと、ジャガイモは、ぐんぐん大きくなりました。理科の授業でも、ジャガイモの観察をしました。大きくなるとちゆうの、土の中のいもをほつて



大きなジャガイモになれよ！

みたりもしました。ジャガイモは、とても大きくなり、きれいなむらさき色の花がさきました。夏、全校生と先生方みんなでジャガイモほりをしました。ほる時は、先生がくわでほつてから、みんなで手でいもをさがし

ていきました。時々、ミミズやクモが出てきて、びっくりしたけれど、それがジャガイモのためになつているとわかりました。ほつたジャガイモは、全部でコンテナ四つ分ぐらいありました。とりたてのジャガイモを調理さんがゆでて下さつて、みんな食べてみました。ホクホクしていて、とってもおいしかったです。また、ほつたジャガイモは、給食で調理してもらつて食べたり、しゅうかくかんしや祭の時、みんなでカレーを作つた時に使つたりしました。いっしょうけんめいさいばいしたジャガイモは、とってもおいしかったです。カレーをたくさんおかわりした人もいました。

それから、地区に住んでいる一人ぐらしのおじいさん、おばあさんに、ジャガイモをプレゼントしました。おうちに届けて



元肥をまいて、栄養たっぷり

あげると、おじいさんやおばあさんは、とても喜んでいました。私は、喜んでもらえて、とてもうれしかったです。

ジャガイモの他にも、一人一人の自分の畑に、いろんな野菜や花をうえて、育てました。私は、これからも、花や野菜などをいっばいいうえて、緑や花の自然いっばいの田代にしていきたいと思います。また、今年は、ジャガイモがどれくらいとれるか、楽しみです。



萬緑の中、思うこと

（財）小国町自然環境管理公社
森林インストラクター 阿部米美

「萬緑の中や吾子の齒生え初むる」

中村草田男

この句を昔、国語の時間に習った時には新緑の情景と赤ん坊の笑顔しか想像できなかったのですが、四歳と〇歳の子供を持つ親となって、この句の味わいがまた違って感じられるようになりました。

※ ※ ※ ※ ※ ※

ここ小国町は森林インストラクターの活動には最適の地とされていますが、子育てに迫られる身には自由に森を散策する時間ありません。

県内の森林インストラクターの方々は協議会を作り、情報交換や自己研鑽の機会を作っている。

ます。私などは、子育てを理由にその催しにも参加できないことが多く、森林インストラクターの肩書きが恥ずかしい位です。また焦りも感じています。

しかし、長い人生の中で子供と向き合って過ごす今こそ貴重な時間なのだと思い直し、休日に子供達と森へ出かけるのを楽しもうと思っています。

今年も大雪でした。でも必ず春には雪が融け、山の稜線を若緑が駆け上がっていくのを見ることができます。この季節、心もわくわくしてきて本当にここに暮らしてよかったと思うのです。

先の句は、自然の営みから生

命の躍動を感じ、またわが子にもその力が宿っていることを喜んでいられるのかなと思うのです。

子育てをしてこられた先輩方もきっとこのような思いを抱いて、自然からと、幼子からと両方から元気の素をもらっていたのではないかと思います。

それと子供達が森に囲まれた環境をどう受け止め、成長していくのかも親として楽しみです。

※ ※ ※ ※ ※ ※

職場では、毎年「白い森緑の教室」という事業を行っています。町内の親子を対象に自然の豊かさに触れてもらう催しですが、私は担当者として企画から運営に携わっています。

その過程で地元の人から、自然とのつきあい方、知恵や工夫をいろいろ教えていただく度、感心させられることが沢山あります。ごくごく一例では種類豊

富な山菜、その調理、保存方法……そこまでするかと思うことも多々あります。

私の感動感激をみなさんにお伝えするのが森林インストラクターの役目なのですが、まだまだ咀嚼するので精一杯です。いつか上手に伝えられるよう意識しながら、「白い森の国おぐに」で子育てと仕事に取り組んでいきたいと思っています。



白い森緑の教室——昨年10月、今ごろ、植えた種子は芽生えたかな。

資源循環型森林施業団地化 モデル事業を創設

今日、森林の多様な機能の持続的発揮とともに森林資源の循環利用が求められており、これら要望に応えるため、スギ人工林については、適切な保育施業や利用間伐を効率的に組み合わせた「資源循環型森林施業」を推進し健全な森林に育成する必要があります。

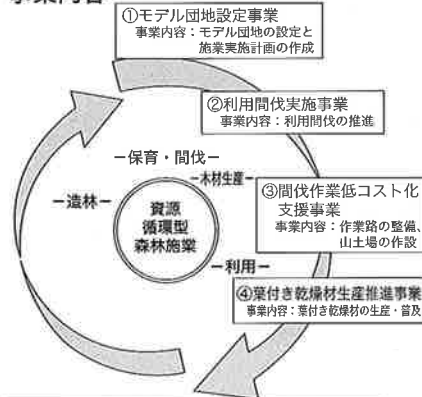
そのためには、①これまでの生産効率の低い個別分散的な森林施業を集団化し、②作業の機械化を可能にする作業路や山土場等の生産基盤を整備し、③コスト倒れ等により進まない利用間伐を推進する手だてが求められます。そこで、資源循環型森林施業団地化モデル事業により、間伐等の森林施業を効率的かつ

事業の内容

①モデル団地設定事業：団地の設定及び施業実施計画の作成 1. 実施主体：市町村 2. 採択条件 ○一団地面積規模300ha以上 ○人工林率60%以上 ○うち要間伐林分60%以上 ○うち利用間伐林分50%以上 3. 施業実施計画：施業の実施計画の作成 4. 実施方法：現行国庫補助事業及び自力事業
②利用間伐実施事業：利用間伐の実施 1. 実施主体：森林組合等 2. 実施方法：現行補助事業（国庫、県単）及び自力事業
③間伐作業低コスト化支援事業：施設の作設・整備及び集運材経費の補助 1. 実施主体：森林組合等 2. 採択条件 ○間伐率 20～50%（本数率） ○間伐材の利用率が50%以上 3. 補助対象：作業路の整備、山土場の作設、運搬経費（標準単価方式） 4. 補助率：1/2（県単）
④葉付き乾燥材生産推進事業：同乾燥材の普及経費の補助 1. 実施主体：県森連 2. 補助対象：葉付き乾燥材の普及に必要な経費 3. 補助率：10/10（国1/2、県1/2）

森林資源の循環利用を促進する総合的な仕組みづくり

事業内容



効果
 ・森林整備による多様な機能の高度発揮
 ・山村・林業の活性化
 ○産物の創出 ○間伐材の有効利用 ○県産材のブランド化

「森林課森林整備室」において八十haの利用間伐を予定している他、保育施業六五〇ha、主伐六ha、間伐材生産三千五百³m³、葉付き乾燥材生産二千³m³を目標に取り組むこととしております。

計画的に実施し、間伐材の効率的な生産を図るとともに、市場ニーズの高い葉付き乾燥材の生産を積極的に進めることとしております。

事業内容は、上表のとおりとなっており、事業計画期間は平成十三〜十七年度の五カ年です。今年度は③間伐作業低コスト化支援事業に千四百万円、④葉付き乾燥材生産推進事業に二十万円を予算計上しています。

今年度の事業計画は下表のとおりとなっております、県内四団地

実施予定箇所と計画及び目標量

所在地	面積 (ha)	実施計画 (目標) 量					事業実施主体
		(ha) 利用間伐	(ha) 保育施業	(ha) 主伐	(m ³) 間伐材生産量	(m ³) 葉付き乾燥材生産量	
西川町	350	15	100	1	650	350	西村山地方森林組合等
米沢市	550	15	170	1	650	350	米沢地方森林組合等
最上町	800	25	240	2	1,100	650	最上広域森林組合等
平田町 八幡町 松山町	450	25	140	2	1,100	650	飽海地方森林組合等
計	2,150	80	650	6	3,500	2,000	

現地ルポ
木の香りいっぱい
大江町「わかば保育園」

大江町は、地元産の西山杉をふんだんに使って、子供たちにやさしく暖かい木造保育園を建設しました。

今年の四月から六十九人の子供たちが、木の温もりあふれる園舎で元気に過ごしています。

この園舎は、県道大江西川線沿いの田園風景が広がる場所に



正面から見たわかば保育園（平成13年3月25日完成）

南向きに建てられました。建物は一見、山小屋風で、外壁の杉板が自然の景観とマッチしています。

建物の中に入ると、木の香りがほんのり漂ってきます。壁や柱、天井などあらゆるところに西山杉が使われています。

また、床にも桜のフローリングが使われており、施設全体が明るく、暖かい雰囲気となっています。

園舎の南側にも幅約三メートルの木製デッキが設置されており、子供たちが、直接手で感じられるような空間づくりに配慮されています。

また、園舎内は、段差のないバリアフリー構造となっております。

また、室内湿度を緩和するな



廊下で元気に遊ぶ子供たち

安全面にも考慮されています。

子供たちは、床に座ってみたり、柱に触れてみるなどして木の良さを肌で感じとりながら、のびのびと園生活を送っているようです。

先生方からも、木造園舎は、素足で歩く子供たちにとって、心地良いと好評です。

木は、「柔らかさ・暖かさ・やさしさ・温もり」を感じさせ

また、室内湿度を緩和するな



木製デッキでひなたぼっこを楽しむ子供たち

ど優れた性質を備えています。

このように、木に囲まれた環境は、子供たちにとって快適で心やすらぎます。

二十一世紀を担う子供たちが木の良さに触れながら、心豊かにすくすく育ってほしいと思います。

※床面積 七七一㎡

※木材使用量 約二〇〇㎡

（主に西山杉）

※建築費 二億九百六十三万円

〔村山総合支庁西村山森林整備課〕

平成十二年 特用林産物の生産状況について

「特用林産物」は、森林から生み出される「林産物」のうち、木材を除いたすべてのものの総称であり、この中には、「きのこ類」、「山菜類」、「樹実類」、のほか、うるしなどの樹脂類、おうれん、きはだなどの薬用植物、木炭、薪、竹、桐などたくさん種類があります。

山形県は、全国における特用林産物の主要な生産県であり、その生産は、農山村地域の重要な産業として大きな役割を果たしてきています。
本県における平成十二年の特用林産物の生産量は約一万四百万トンで、生産額は六十億五千万円となっております。

「きのこ類」の生産量は八千

百九十五万トンで、生産額は四百八十八億八千万円となっており、特用林産物生産額全体の七十六%を占めています。主な作目としては、なめこ、えのきたけ、生しいたけ、ひらたけ、まいたけのほか、近年生産が増加しているぶなしめじやエリンギなどがあります。

「山菜類」の生産量は、千八十二万トンで、生産額は十一億四千万円となっており、全体の十九%を占めています。主な作目としては、わらび、ふぎ、たけのこ、うど、あけびなどがあり、最近では、たらのめ、こごみ、うるいなどの人工栽培での生産量が増えています。

「木炭類」の生産額は二億二

千万円となっており、全体の四%を占めています。主な作目としては、白炭、黒炭があり、最近では、竹炭や木酢液の生産が増加しています。

「樹実類」と「竹桐類」の生産額は一億一千万円となっており、主な作目としては、やまぶどう、くり、こくわ、桐などがあります。

近年、県民の健康・自然志向への関心が高まる中で、特用林産物のもつ優れた特性等が見直されており、健康食品としての「きのこ」や「山菜」、調湿、消臭、水質浄化などの機能を持つ「木炭」や土壌改良材としての「木酢液」などが注目を集めております。

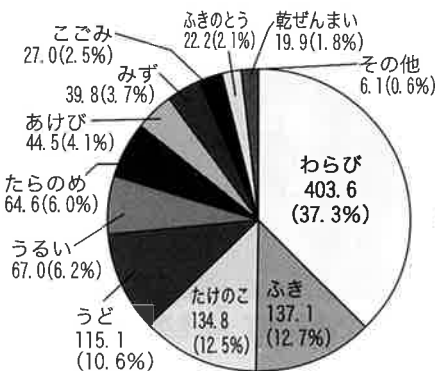
このため、県では、今後も積極的に特用林産物の生産振興と需要の拡大を図ってまいります。

〔県森林課〕

H12山菜類の生産量

(単位：トン)

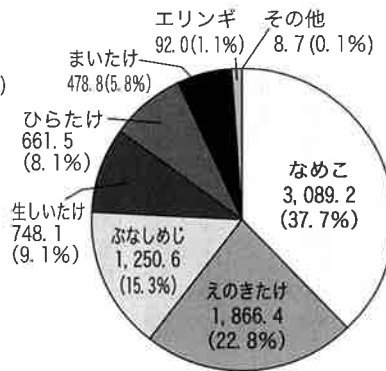
1,081.7トン



H12きのこ類の生産量

(単位：トン)

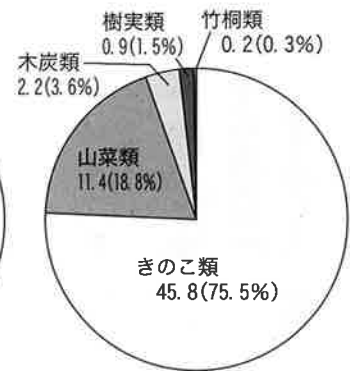
8,195.3トン



H12特用林産物生産額

(単位：億円)

60.5億円





県民の森で楽しいイベント 問い合わせ先：県民の森森林学習展示館 TEL. 023-666-2116

月 日	イ ベ ント	内 容
5月12日(土)	第二土曜日森林クラブ	森林の観察会など
5月26日(土)	第四土曜日森林クラブ	カブトムシの森づくりなど
6月 9日(土)	第二土曜日森林クラブ	森林の観察会など
6月23日(土)	第四土曜日森林クラブ	草木染など
7月14日(土)	第二土曜日森林クラブ	森林の観察会など
7月28日(土)	第四土曜日森林クラブ	夏休み自由研究 昆虫・植物・水生植物・森の標本づくりコース
8月11日(土)	第二土曜日森林クラブ	自然素材で昆虫標本づくりなど
9月 8日(土)	第二土曜日森林クラブ	森の観察会など
9月22日(土)	第四土曜日森林クラブ	森の恵みで木工・クラフトづくり
10月27日(土)	第四土曜日森林クラブ	紅葉の森の散策と木工・クラフト
10月28日(日)	森の工房むうぶ作品展	森の案内人による作品展 11月4日まで
11月3・4(土・日)	森の芸術祭	森林の風景に自然素材で創った作品を野外展示
11月10日(土)	第二土曜日森林クラブ	カブトムシの森づくりなど
11月24日(土)	第四土曜日森林クラブ	リースづくり・カブトムシの森づくりなど
平成14年 2月	県民の森 ラングラウフスキー大会	山形市少年自然の家スタート 3km、5km、10km、1kmのファミリーコース 冬の県民の森も素晴らしい 参加費 1,500円(予定)

源流の森で森に親しむ 問い合わせ先：源流の森センター TEL. 0238-77-2077

月 日	イ ベ ント	内 容
5月12日(土)	第25回	雑木林とスギ林、巨木を訪ねて 土日両日開催
5月13日(土)	森林(もり)の学校	源流の森インタープリターが案内 参加費 500円/回
5月19日(土)	第3回	森林内の事故救助訓練と救護法について研修
5月20日(日)	森林安全救助研修	講師：細川秀彦氏(山形県キャンプ協会) 参加費 15,000円
6月 2日(土)	全国植樹祭記念行事	山形県植樹祭“森のくに宣言祭”記念式典1万人記念植樹
6月 3日(日)	山形県植樹祭	平成13年度オープニングイベント 緑のプレゼント 各種イベント盛り沢山
6月23日(土)	第5回	「源流の森1000年の森をみんなで作ろう」杉林の手入れ
6月24日(日)	森づくり実感隊	ボランティア参加の楽しい森作り 参加費 1,000円(1日毎)
7月14日(土)	第26回	昆虫や植物と友達になったり、クラフトや冒険に挑戦
7月15日(日)	森林(もり)の学校	ゲスト：未定 参加費 3,000円(1泊2日)
7月28日(土)	源流の森	夏休み工作教室、自由研究相談会、森の音楽会など
7月29日(日)	夏まつり	
8月11日(土)	全国植樹祭記念林間学校	森に飛び込み、自然に親しみ、野外生活の楽しさ体験
8月12日(日)	第27回森林(もり)の学校	講師 山形県森林インストラクター協議会 参加費 3,000円(1泊2日)
9月 8日(土)	第28回	森の幸を求めて、そして森の幸に舌つづみ
9月 9日(日)	森林(もり)の学校	ゲスト：未定 参加費 500円/回
9月22日(土)	第6回	「源流の森1000年の森をみんなで作ろう」ブナ・ナラの苗木づくり
9月23日(日)	森づくり実感隊	ボランティア参加の楽しい森作り 参加費 1,000円(1日毎)
10月 7日(日)	第29回	中津川の自然と文化にふれる
10月 8日(月)	森林(もり)の学校	森の文化祭と同時開催 参加費 500円/回
10月17日(水)	第5回	冒険教育プログラムを活用できる指導者の養成
10月21日(日)	冒険教育指導者講習会	定員20名 18歳以上の方 参加費 114,000円(4泊5日)
10月26日(金)	森林環境教育研修	森林の中での環境教育に関する知識や手法を学ぶ
10月28日(日)		定員14名19歳以上の方 参加費 25,000円(2泊3日)
2月22日(土)	第30回	雪の中で春の芽吹き探しとアニマルトラッキング
2月23日(日)	森林(もり)の学校	源流の森インタープリターが案内 参加費 3,000円(1泊2日)
6月~11月 全6回 土曜日	陶芸実技研修 全日程参加が基本	陶芸を中心とした創作活動のインタープリティションについて体験研修 講師：館石 茂(源流の森陶芸教室チーフインタープリター)

眺海の森で嬉しいイベント 問い合わせ先：眺海の森森林学習展示館 TEL. 0234-62-3323

月 日	イ ベ ント	内 容
5月23日(水)	庄内地方植樹祭	式典、記念植樹、一般参加植樹、緑のプレゼントなど
5月27日(土)	第2回眺海の森森林教室	新緑の森林散策、舞茸の植菌、焼き杉細工 芝刈り体験など 参加費 500円/回
7月 1日(日)	眺海の森ロードレース	松山町教育委員会主催で小学生男子、女子、中学生男子、女子 一般男子、女子、親子の種目
7月28日(土)	眺海の森音楽会	野外ステージを会場にアマチュアバンドコンテスト
8月19日(日)	第2回眺海の森森林教室	昆虫探しの森林散策、沼での魚釣り、ボールペン製作など 参加費 500円/回
9月22日(土)	眺海の森 グランドゴルフ交流大会	庄内市町村のグランドゴルフ愛好会の交流会
10月 7日(土)	第4回眺海の森森林教室	木のみ探しの森林散策、きのこ収穫、カイト製作カイト揚げ 参加費 500円/回
11月11日(土)	第5回眺海の森森林教室	落ち葉ウオーク、ネイチャーゲーム、しいたけ植菌体験、 木工製作など 参加費 500円/回



「神泉の水」は、湧水を山の神より普請して引いてきたことからこの名がついたと言われており、この集落の生命であり、シンボルとも言えます。
 洗い場は六つの水槽に仕切られ、人々は何代も前からしきたりを守り、相互の水の汚れを防ぎながら大切に使用しています。
 この洗い場は、洗濯や野菜洗いをしながらの井戸端会議の場として人気の高いところです。
 (山形県森林協会)



案内図



小段丘の斜面に立つために根幹の境は判然としませんが、高地面の土際の幹周は八・六m、樹周十m、樹高三十mあり、樹齢八百有余年と伝えられるが、樹勢は極めてさかんで、根元から湧き出る清水は、古来不老のけやき清水といわれている。
 県内におけるけやきの巨樹として、昭和三十一年五月十一日山形県指定天然記念物に指定されている。(山形県森林協会)



案内図



21世紀の緑を美しく、
安らぎと輝きの森林と水を求めて



社団法人

山形県林業コンサルタンツ

理事長 菅原 六郎

山形市松栄一丁目5番41号 TEL (023)647-1800
FAX (023)647-1801



緑の募金

春募金

4月23日～5月31日

広げよう 緑をはぐくむ輪

財団法人

山形県みどり推進機構

理事長 細野 武司

〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2265
TEL (023)688-6633
FAX (023)688-6634



もり
森林の鼓動が聞こえますか…

森林を守り育てる「林業従事者」の育成と確保を目指して

財団法人 **山形県林業従事者育成基金**

(山形県林業労働力確保支援センター)

☎990-2334 山形市蔵王成沢字町浦535番地
山形県森林組合連合会内
電話(023)688-8220 FAX(023)688-8103

山形県緑化事業協同組合連合会



会 長 斎 藤 博

専務理事 富 田 昌 弘

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内
TEL 023-632-5148
FAX 023-641-9288

山火事注意！ 『育てたい 山へのマナー 火の始末』

実施期間 平成13年4月23日～5月31日

緑のアドバイザー



財団法人 **林野弘済会秋田支部** 支部長 石岡 保

〒010-0001 秋田市中通5-9-16(東北森林管理局内)
TEL 018(832)4040 FAX 018(835)6837

山形出張所 所長 渡辺 省三
〒990-0021 山形市小白川町5-28-8(蔵王森林センター内)
TEL・FAX 023(641)1024



素材	樹材種	材長	品等	1m ³ 当り価格	前月比較		
	スギ小丸太	3.65～4.00m	込	11,700円	-300		
スギ中丸太	//	//	16,100円	-500			
スギ大丸太	//	//	19,300円	-100			
材	米マツ中丸太	6.0m～	普通材	19,400円	-100		
	米マツ大丸太	//	//	23,200円	-300		
	北洋アカマツ中丸太	3.8～	//	17,400円	±0		
製品	樹材種	厚	幅	長	品等	1m ³ 当り価格	前月比較
	スギ柱	10.5cm	10.5cm	3.00m	特等	60,600円	-400
	米マツ柱	10.5cm	10.5cm	4.00m	//	58,600円	-100

木材市況
(四月一日現在)

印刷所 渡辺活版所 定価 一部二〇円

森林やまがた5月号 平成13年5月1日発行 通巻第50号

編集 山形県森林協会 山形県

発行 山形県森林協会

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内

TEL 023-631-6566 023-622-8823

FAX 023-631-6573